

2019年9月期 第1四半期決算説明



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

株式会社ユーグレナ

2019年2月

2019年9月期 第1四半期決算概要

2019年9月期第1四半期決算および通期業績予想

バイオ燃料製造実証プラント竣工に伴い、**建設関連費用約63.7億円***を研究開発費として一括費用計上

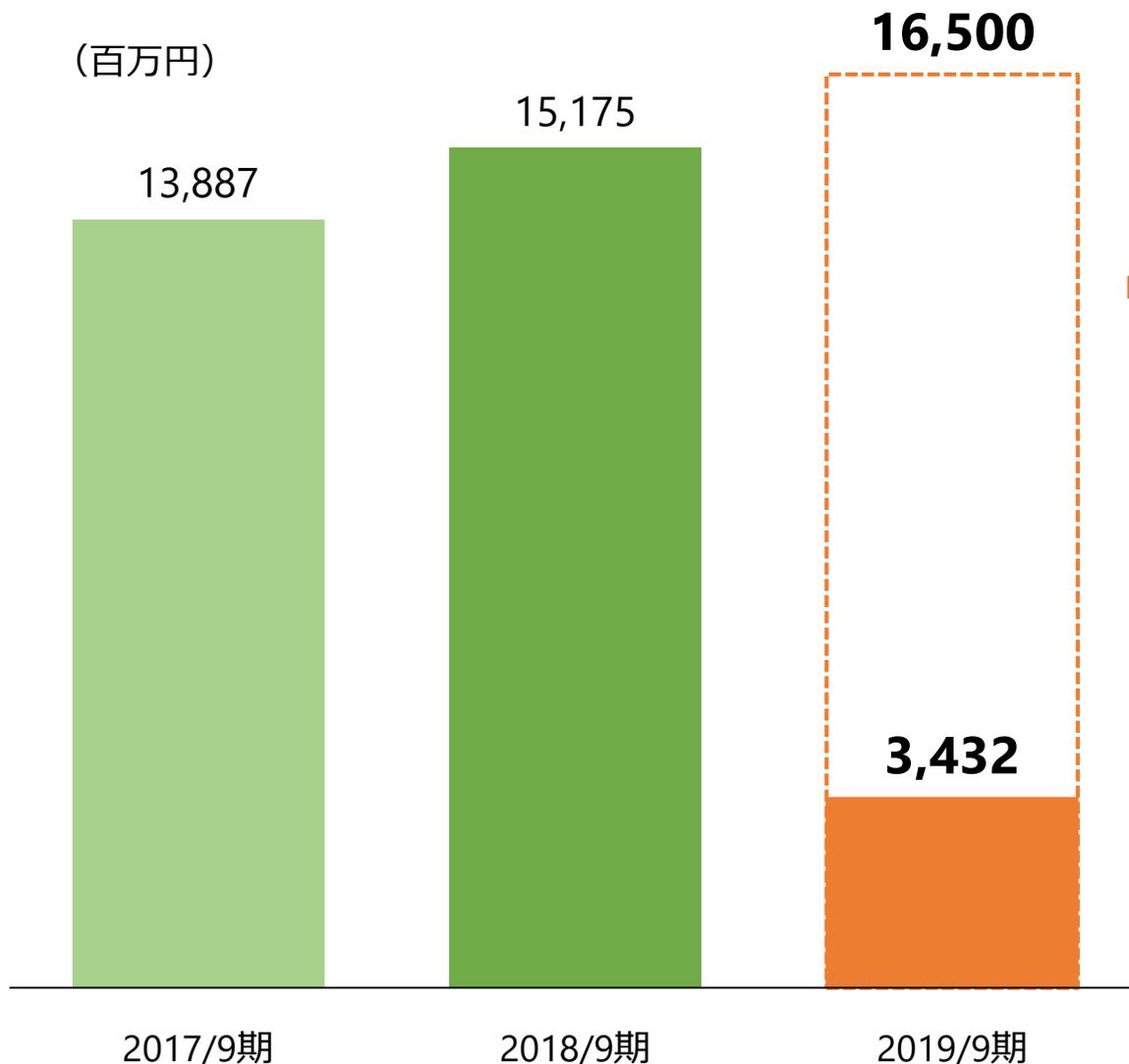
(百万円)	2018/9期 1Q実績	2019/9期1Q実績		2019/9期業績予想	
		一括費用計上含む	一括費用計上除く	一括費用計上含む	一括費用計上除く
売上高	3,449	3,431	3,431	16,500	16,500
営業利益	△430	△6,457	△87	△6,793	△420
経常利益	△364	△6,421	△50	△6,373	0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△461	△6,494	△124	△6,673	△300

※建設関連費用: 6,370百万円

注: 上記は決算短信に合わせ百万円未満を切捨てて記載しております。以降のページのチャート、テーブルの記載値は百万円未満を四捨五入しているため、一部数値が一致しない場合があります。

経営指標—売上高推移

(百万円)



進捗率

+21%

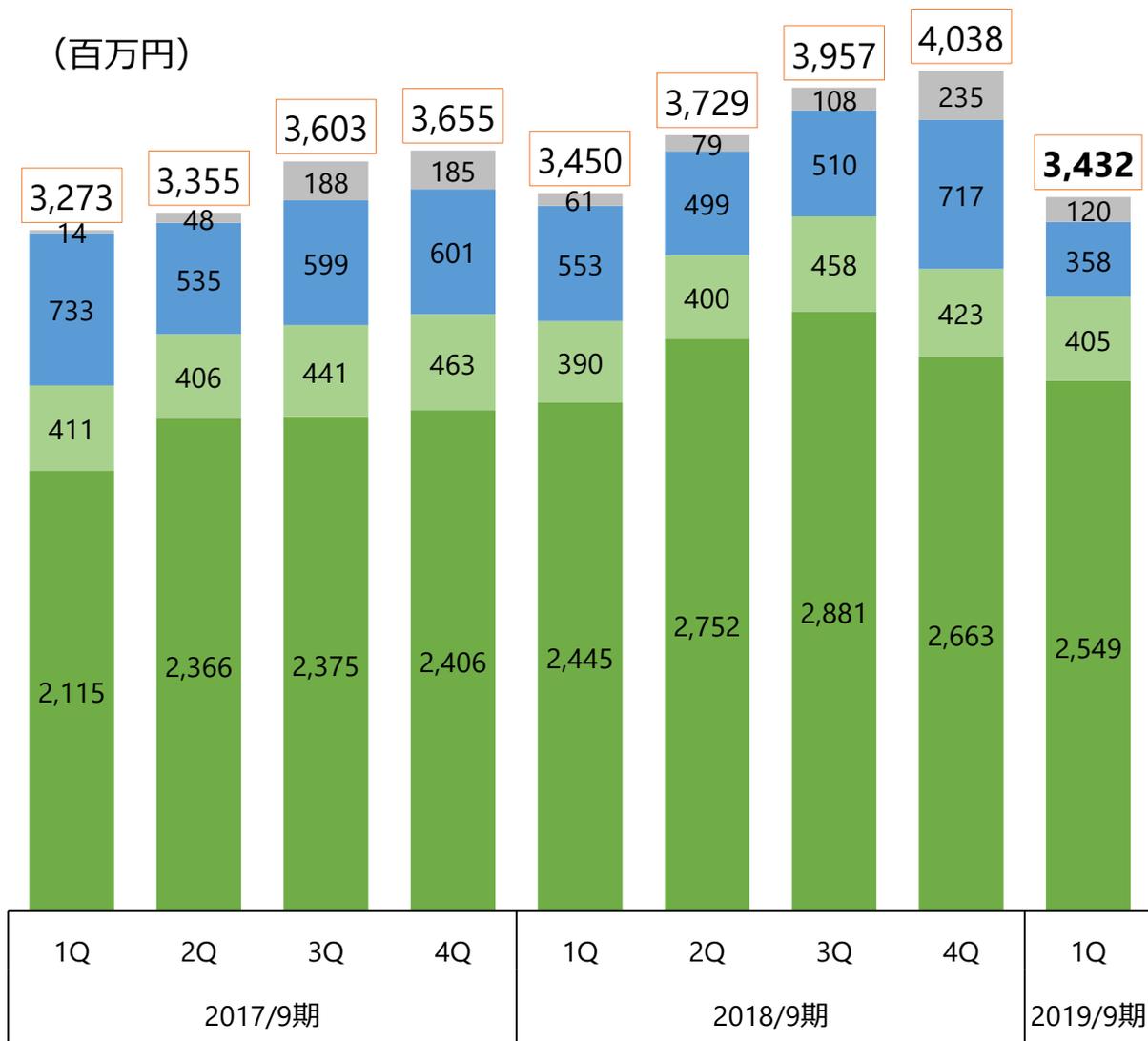


ユーグレナの緑汁

経営指標—四半期別売上構造推移

■ 直販 ■ 流通 ■ OEM・原料・海外 ■ その他

(百万円)



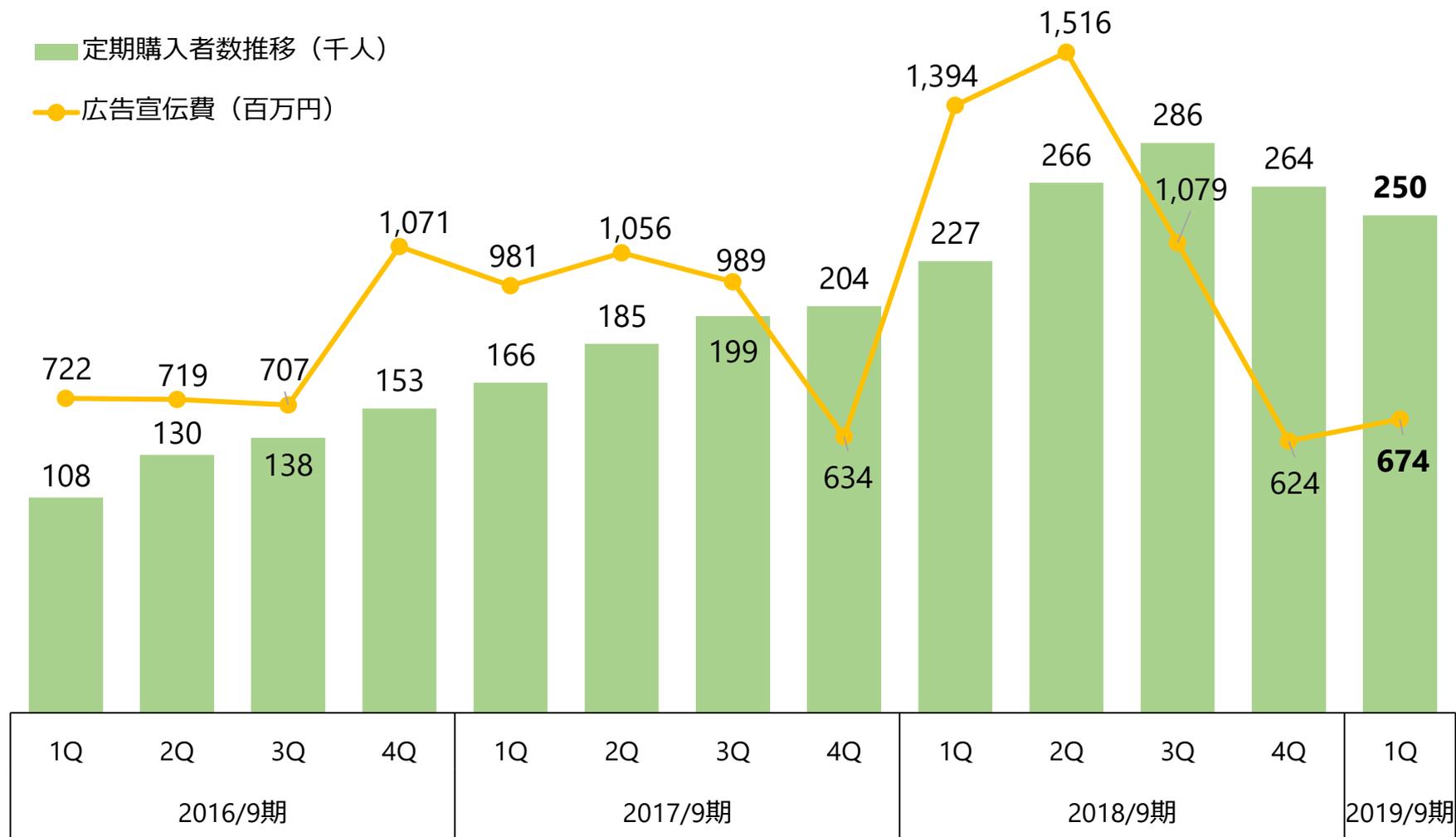
**OEMを中心に
前四半期対比で
売上高が減少**



oneオールインワン パワーリフティングクリーム

経営指標—定期購入者数推移と広告宣伝費推移

広告宣伝投下の抑制継続により定期購入者数は減少、 上期中に戦略商品の評価を実施予定

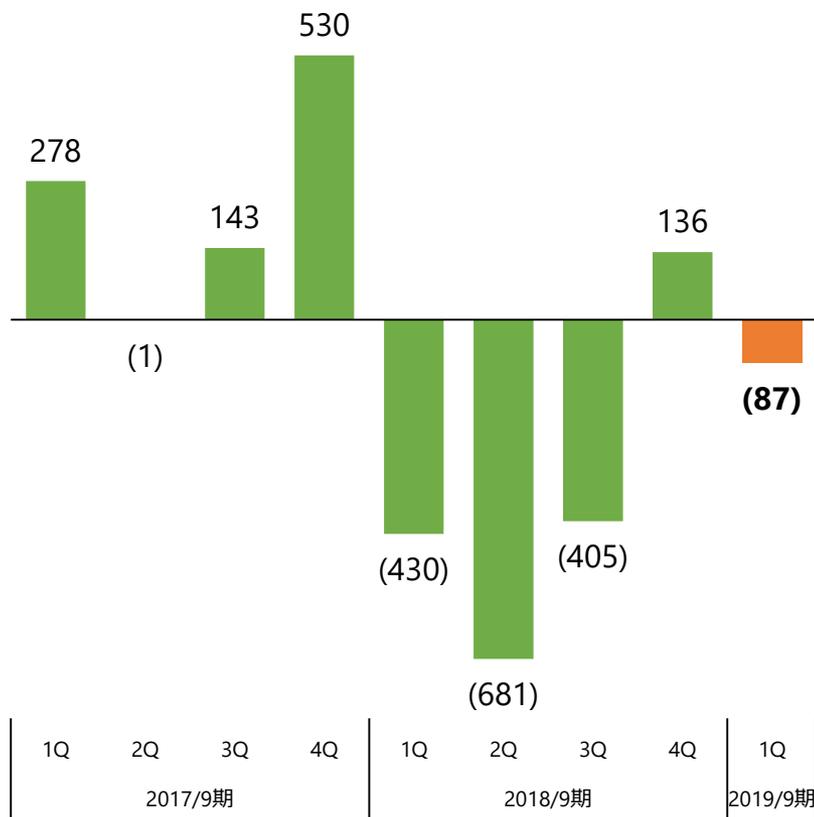


経営指標—連結営業損益※1、連結EBITDA※2

連結営業損益は小幅の赤字、連結EBITDAはプラスを維持

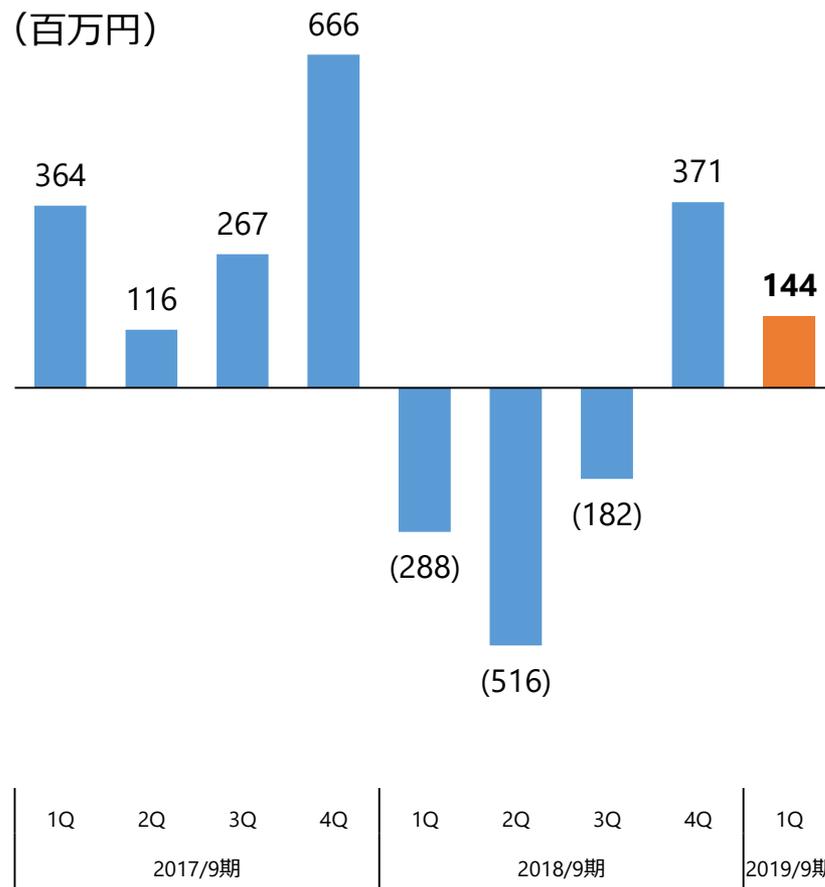
連結営業損益

(百万円)



連結EBITDA

(百万円)

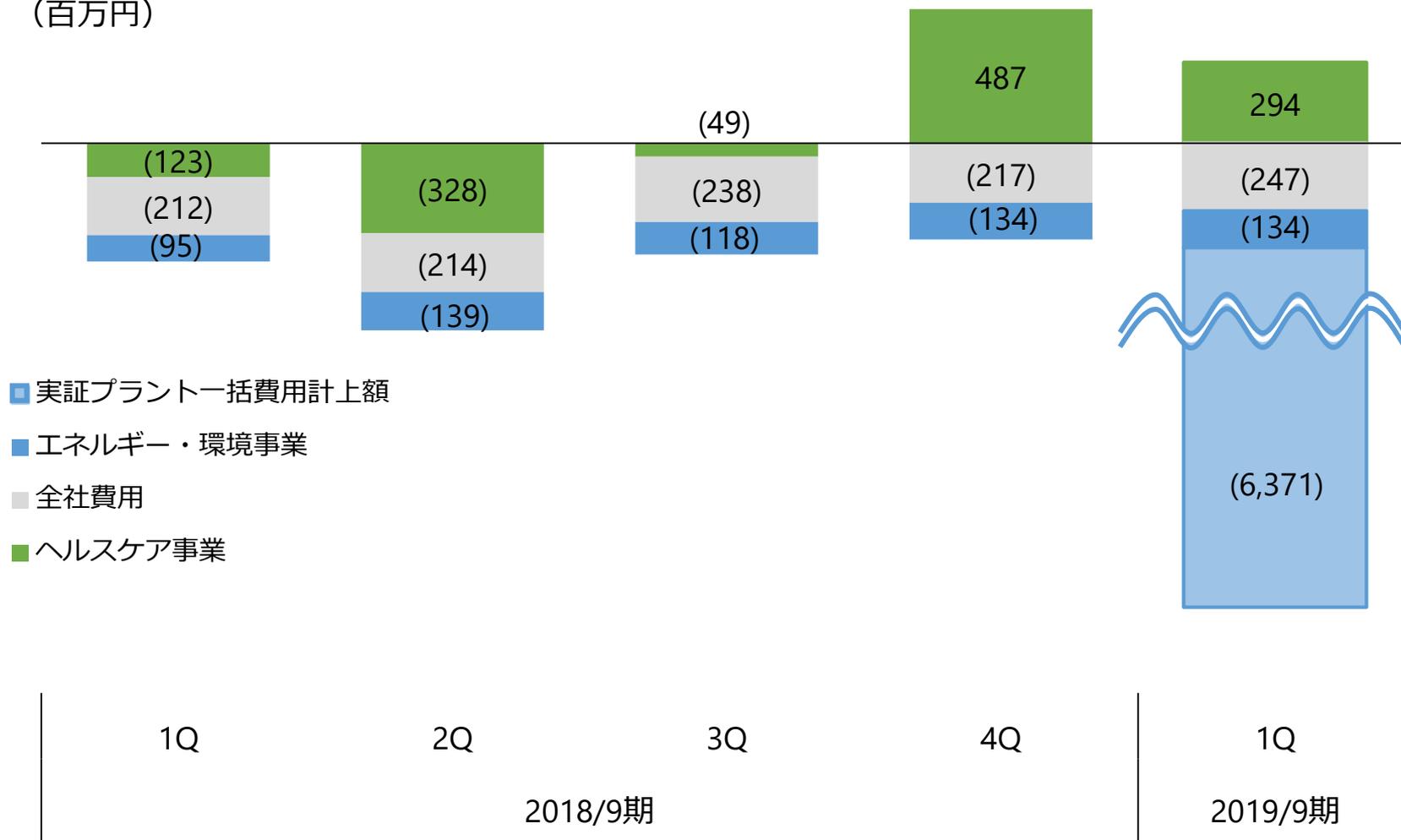


※1: バイオ燃料製造実証プラント引き渡しに伴う一括費用計上額を除いた数値
 ※2: 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

経営指標—セグメント別営業損益推移

ヘルスケア事業は黒字を維持、63.7億円の実証プラント建設 関連費用は本第1四半期のみの一過性費用

(百万円)

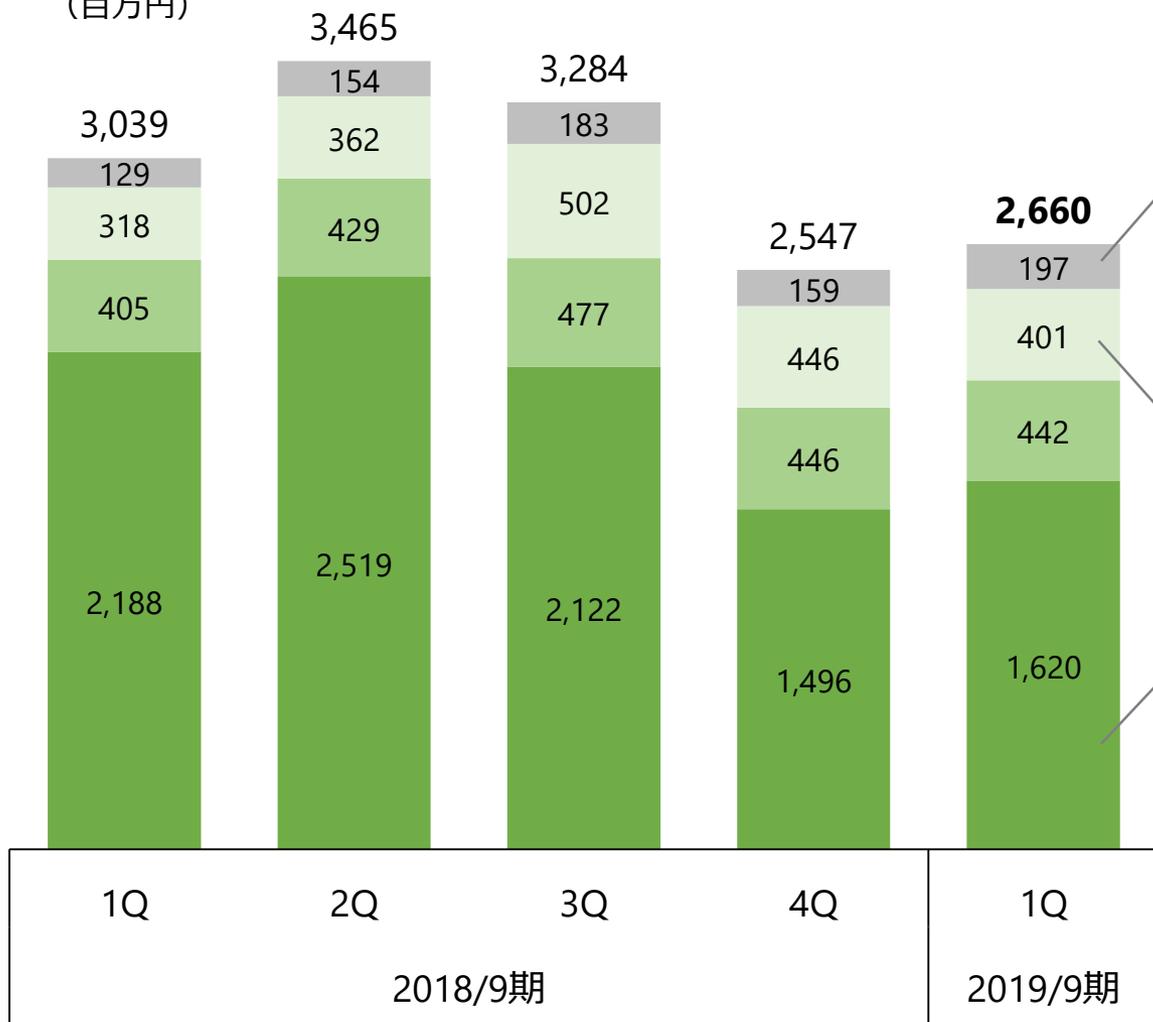


経営指標—販売費及び一般管理費

費用構造の見直しにより前四半期に比して固定費を削減

■ 販売費 ■ 人件費 ■ 管理費 ■ 研究開発費

(百万円)



実証プラントの試運転開始
研究開発費※ + 38百万円

※実証プラント一括費用計上を控除後の額

費用構造の見直し
管理費 △37百万円

販売促進費、広告宣伝費
販売費 + 124百万円

連結損益計算書サマリー

(百万円)	2017/9期					2018/9期					2019/9期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	一括費用 計上除く
売上高	3,273	3,355	3,603	3,655	13,887	3,450	3,729	3,957	4,038	15,175	3,432	3,432
直販	2,115	2,366	2,375	2,406	9,262	2,445	2,752	2,881	2,663	10,740	2,549	2,549
流通	411	406	441	463	1,722	390	400	458	423	1,672	405	405
OEM・原料・海外	733	535	599	601	2,467	553	499	510	717	2,279	358	358
その他	14	48	188	185	435	61	79	108	235	483	120	120
売上原価	816	876	948	1,037	3,678	841	946	1,078	1,355	4,220	858	858
売上総利益	2,457	2,479	2,655	2,618	10,209	2,609	2,784	2,879	2,682	10,954	2,573	2,573
粗利率	75%	74%	74%	72%	74%	76%	75%	73%	66%	72%	75%	75%
販売管理費	2,178	2,480	2,512	2,088	9,258	3,039	3,465	3,284	2,547	12,334	9,031	2,660
販売費	1,568	1,855	1,779	1,330	6,532	2,188	2,519	2,122	1,496	8,325	1,620	1,620
(内 広告宣伝費)	981	1,056	989	634	3,661	1,394	1,516	1,079	624	4,614	674	674
人件費	276	313	354	351	1,294	405	429	477	446	1,757	442	442
管理費	239	206	264	292	1,001	318	362	502	446	1,628	401	401
研究開発費	95	107	114	115	431	129	154	183	159	624	6,568	197
営業利益	278	△1	143	530	951	△430	△681	△405	136	△1,380	△6,458	△87
EBITDA	364	116	267	666	1,413	△288	△516	△182	371	△614	144	144
営業外損益	24	145	25	62	256	66	148	42	27	283	36	36
(内 助成金収入)	2	118	7	40	167	42	124	27	10	203	18	18
経常利益	302	144	169	592	1,207	△364	△533	△363	163	△1,097	△6,422	△51
親会社株主に帰属する当期純利益	209	92	123	361	786	△462	△531	△373	113	△1,252	△6,495	△124

◆参考指標

減価償却費	64.9	89.7	93.3	101.2	349.1	91.3	108.7	125.1	145.1	470.3	140.9	140.9
(内 M&A関連)	10.7	10.7	10.7	10.7	42.8	10.7	13.4	18.7	18.7	61.5	18.7	18.7
のれん償却額	21.0	27.4	30.0	34.6	113.0	50.9	56.8	97.6	90.3	295.6	90.3	90.3

注：上記テーブルの数値は百万円未満を四捨五入しており、開示数値および本決算説明資料のチャート記載値（百万円未満を切捨て）と一致しない場合があります。

連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2018/9期	2019/9期1Q	増減
流動資産	8,362	11,558	3,196
現金及び預金	4,427	7,716	3,289
その他	3,935	3,842	△93
固定資産	13,476	8,340	△5,136
有形固定資産	8,897	3,911	△4,986
(内 建設仮勘定)	4,984	45	△4,939
無形固定資産	3,777	3,657	△120
投資その他の資産	802	772	△30
(内 投資有価証券)	389	394	5
総資産	21,838	19,898	△1,939
負債	5,933	6,703	770
流動負債	2,081	2,646	565
(内 短期借入金)	461	460	△1
固定負債	3,851	4,056	205
(内 長期借入金)	3,389	3,281	△108
純資産	15,905	13,196	△2,709
株主資本	15,898	13,190	△2,708
(内 資本金)	5,424	7,318	1,894
(内 資本剰余金)	9,080	10,974	1,894
(内 利益剰余金)	1,625	△4,870	△6,495
その他	7	6	△1
負債純資産合計	21,838	19,898	△1,939

第7回新株予約権の行使に伴う科目の増減

- 現金および預金の増加
- 株主資本のうち資本金と資本剰余金はそれぞれ約19億円増加

バイオ燃料製造実証プラントの一括費用計上に伴う科目の増減

- 建設仮勘定の減少
- 未払費用、資産除去債務等による負債の増加
- 株主資本のうち利益剰余金の減少

ヘルスケア事業および エネルギー・環境事業の進捗

ヘルスケア事業—新商品ラインナップおよび販路の拡充

直販チャネルの主力製品“ユーグレナの緑汁”をドラッグストア など流通チャネルでも展開開始

2018年12月に大阪営業所を開設、西日本エリアの営業力を強化



euglena online
自社ECサイト

直販



BtoC



流通



2018年12月より
新販路
ドラッグストアへ
配荷開始



BtoBtoC

ヘルスケア事業—ASC-MSC認証の取得

世界初となるASC-MSC※海藻（藻類）認証を微細藻類ユーグレナとクロレラが取得、SGDsに貢献する食材として認定



※ASC認証は環境と社会に配慮した責任ある養殖方法で生産された水産物を対象とする国際認証制度、MSC認証は持続可能で環境に配慮した漁業で獲られた水産物を対象とする国際認証制度。いずれの認証制度も過去のオリンピック・パラリンピックで食材調達基準として採択された国際的認証制度

エネルギー・環境事業—バイオ燃料製造実証プラントの竣工

2018年10月31日にバイオ燃料製造実証プラントが竣工、 今夏バイオディーゼル燃料供給に向け試運転開始



化粧品の付加価値向上

- ユーグレナエキス※1が表皮細胞の増殖を促し、皮膚のターンオーバーを向上させる可能性と、フィラグリンの遺伝子発現および合成を促すことで、皮膚のバリア機能を強化する可能性を示唆

※1 当社独自の技術でユーグレナから有用成分を酵素抽出したエキス

パラミロン摂取による自律神経の調整

- パラミロンを摂取し強度の高い運動※2をしたマウス群※3はアドレナリンの分泌が抑制され、運動によって交感神経が優位となる状況を緩和する可能性を示唆

※2 走行による運動

※3 比較対象：(安静群) 通常食の給餌+運動をさせない群および(運動群) 通常食の給餌+強度の高い運動をさせた群

脂肪肝から生じる炎症性疾患の抑制

- ユーグレナやパラミロンの継続摂取により肝星細胞※4の活性化が抑えられ、肝臓のメタボリックシンドロームと言われる非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) の肝臓の線維化※5が抑制されることを示唆

※4 コラーゲン線維を産生することで硬くなり、肝臓の線維化を起こす原因のひとつになる細胞

※5 内臓などを構成している結合組織と呼ばれる部分が異常増殖する現象のことであり、肝臓においては、線維化が進むと肝硬変になる

生活習慣病へのアプローチ

- ユーグレナと野菜粉末の同時摂取により、腸内細菌叢※6の調節を介して内臓脂肪蓄積の抑制作用と抗炎症作用※7の示唆、および肥満モデルマウスの抗肥満作用を示唆する研究結果を確認

※6 ヒトや動物の腸内で一定のバランスを保ちながら共存している多種多様な腸内細菌の集まりのこと

※7 炎症を抑制する作用